

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2014年 第24週（6月9日～6月15日）

## ★お知らせ

### ○ヘルパンギーナに注意して！

定点医療機関からの報告数は前週の0.47から0.97と2倍以上増加し、中央西福祉保健所では注意報値を超えています。いわゆる夏かぜの代表的疾患で、突然の高熱とノドの痛みを特徴とします。倦怠感や口腔内の痛みなどから、食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。鼻汁・糞便等の排泄物による接触感染、もしくは咳等による飛沫感染により感染します。回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。外から帰った後、食事の前、トイレの後などに手洗いをすることが最も大切です。

### ○水痘に注意して！






定点医療機関からの報告数は前週の1.20から1.90と増加し、安芸福祉保健所では警報値を超えています。臨床経過は一般的に軽症で、倦怠感、掻痒感、38度前後の発熱が2～3日間続く程度であることが大半ですが、成人ではより重症化しやすいです。感染力は強く、発疹出現の1～2日前から出現後4～5日、あるいは痂皮化するまで伝染力があるのでヒトとの接触をさけることが重要です。うがいなどの一般的な予防方法の励行に努めましょう。また、ワクチンがありますが、任意接種になりますのでかかりつけ医に相談してください。

### ○感染性胃腸炎に注意して！

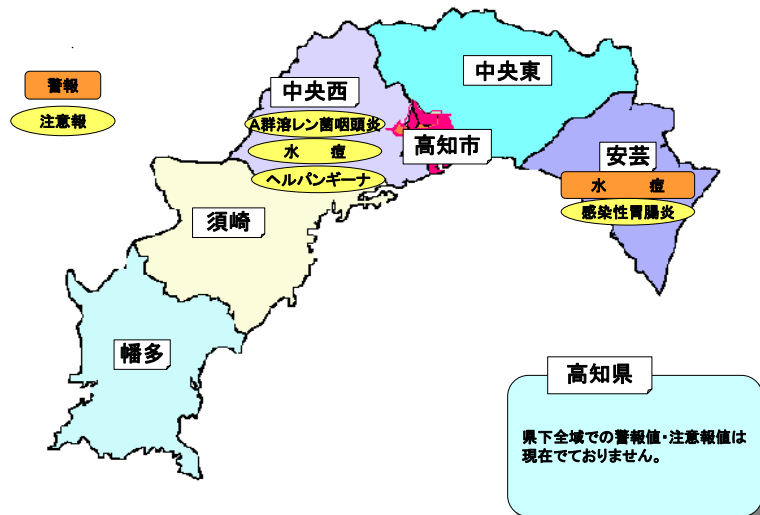
定点医療機関からの報告数は前週の3.67から4.93と増加し、安芸福祉保健所では注意報値を超えています。ホット情報ではロタウイルスによる胃腸炎が多数報告されています。感染を広げないようにするには、排便後、調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。また、衣類（おむつ等）が便や吐物で汚れたときは、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤）で浸けおき消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。

## ★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		4.93	安芸、須崎、高知市、中央東で増加し、安芸では注意報値を超えています。
水痘		1.90	安芸、中央西、須崎で増加し、安芸では警報値を、中央西では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.27	中央西、須崎、高知市、幡多で増加し、中央西では注意報値を超えています。
流行性耳下腺炎		1.03	中央東で増加していますが、全体では減少しています。
ヘルパンギーナ		0.97	中央西、高知市、須崎、中央東で増加し、中央西では注意報値を超えています。流行のシーズンなので注意してください。

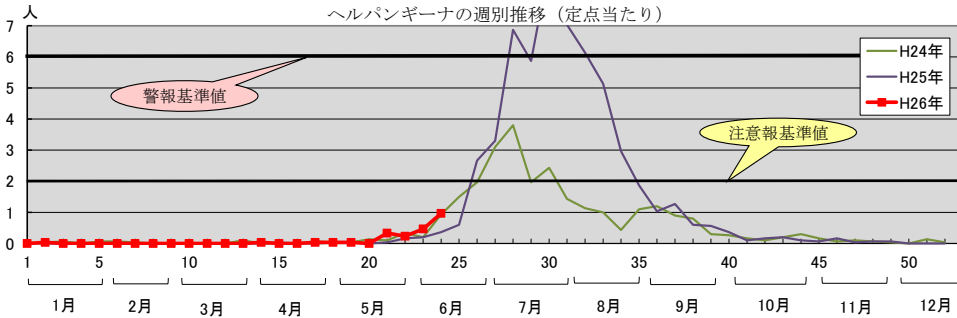
## ★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

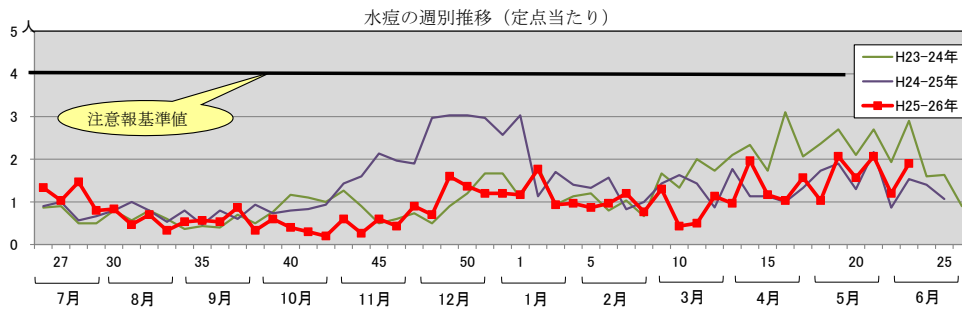
○ヘルパンギーナ：0.97（注意報値：2.00 警報値：6.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.97（前週：0.47）と 2 倍以上増加しています。地域別にみると、中央西（2.00：前週 0.67）高知市（1.64：前週 0.82）須崎（1.00：前週 0.50）中央東（0.43：前週 0.14）で増加し、中央西では注意報値を超えています。また年齢別にみると、0～4 歳が約 93%、10 歳以上が約 7% となっています。病原体定点の検体からは Coxsackievirus A5 が 1 例検出されています。



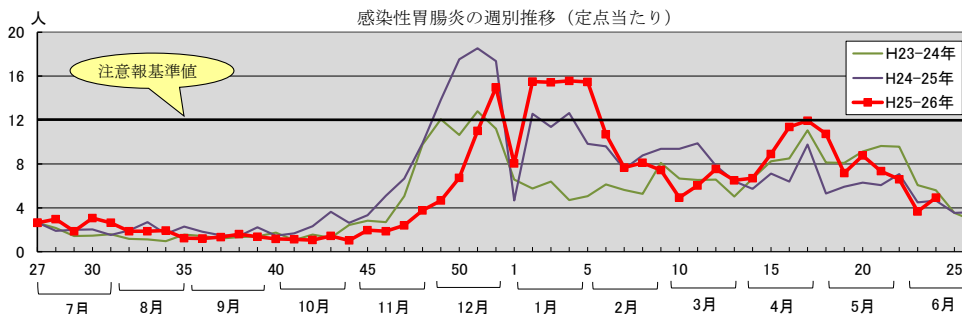
○水痘：1.90（注意報値：4.00 警報値：7.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.90（前週：1.20）と増加しています。地域別にみると、安芸（7.50：前週 0.50）中央西（6.33：前週 0.33）須崎（1.00：前週 0.50）で増加し、安芸では警報値を、中央西では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎：4.93（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 4.93（前週：3.67）と増加しています。地域別にみると、安芸（14.50：前週 7.00）須崎（8.00：前週 2.00）高知市（5.09：前週 4.27）中央東（4.29：前週 3.43）で増加し、安芸では注意報値を超えています。



★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	5	66	70 歳代 (男)	安 芸
				40 歳代 (女)	中央東
				50、60 歳代 (女)	高知市
				80 歳代 (女)	中央西
4 類	重症熱性血小板減少症候群	1	2	70 歳代 (男)	安 芸

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
24	感染性胃腸炎	4	女	須崎	Norovirus GII NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
22	感染性胃腸炎	1	男	須崎	Adenovirus 6
23	感染性胃腸炎	10ヶ月	女	高知市	Adenovirus 1
23	顔面神経麻痺、ウイルス感染症	11ヶ月	男	高知市	Human herpes virus 6
					Adenovirus 6
23	ヘルパンギーナ	10ヶ月	男	中央西	Coxsackievirus A5
23	急性気管支炎	7	男	高知市	Cytomegalovirus
23	—	7	女	中央東	Human herpes virus 6
23	不明発疹症	11ヶ月	男	須崎	Human herpes virus 7
23	急性咽頭炎	4	女	高知市	Parainfluenza virus 3
23	不明発疹症	2	女	須崎	Rhinovirus
23	不明発疹症	1	男	須崎	Rhinovirus

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例 (2 歳男) ヒトメタニューモウイルス 1 例 (4 歳男) とびひ 3 例 (1、2 歳男、5 歳女)
中央東	あけぼの小児クリニック	カンピロバクター腸炎 2 例 (11 歳 2 人) サルモネラ (O9) 腸炎 1 例 (5 歳)
	早明浦病院小児科	ロタウイルス胃腸炎 1 例 (3 歳男)
	JA 高知病院小児科	おたふく 1 例 (5 歳男：南国市)
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎 2 例 (0、1 歳男) カンピロバクター腸炎 2 例 (4、6 歳女) 病原性大腸菌 O-18 1 例 (11 歳男) ロタウイルス 1 例 (1 歳女) 帯状疱疹 1 例 (5 歳男)
	高知医療センター小児科	アデノウイルス 2 例 (1 歳男女) A 群レンサ球菌 1 例 (2 歳男)
	細木病院小児科	ロタウイルス 3 例 (2、12 歳男、4 ヶ月女)
	ふないキッズクリニック	ロタウイルス 2 例 (9 ヶ月男、5 ヶ月女)
中央西	日高クリニック	アデノウイルス感染症 1 例 (10 ヶ月男) ヒトメタニューモ感染症 4 例 (肺炎 1 人、気管支炎 3 人) (10 ヶ月、11 ヶ月 2 人男、2 歳女)
須 崎	もりはた小児科	カンピロバクター腸炎 1 例 (9 歳男) ロタウイルス胃腸炎 4 例 ヒトメタニューモウイルス 1 例 (8 ヶ月男)
幡 多	幡多けんみん病院小児科	hMPV 1 例 (1 歳男)
	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 3 例 (2 歳男 2 人、8 歳女)

## ★全国情報

### 第22週 (5/26～6/1)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核441例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症32例、腸チフス2例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎1例、重症熱性血小板減少症候群2例、つつが虫病7例、デング熱3例、日本紅斑熱5例、レジオネラ症20例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、ジアルジア症2例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性肺炎球菌感染症28例、梅毒21例、破傷風2例  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん4例、麻しん5例、後天性免疫不全症候群18例

報告遅れ：急性脳炎7例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

## ★A型肝炎の発生動向 (2014年第22週)

2014年の全国におけるA型肝炎の報告数は第3週以降増加し、第9～10週にピークを形成した。その後減少したものの、過去4年間の報告数から算定されたベースラインを大きく超える値で推移しており、第12週以降は平均10例程度報告されている。第22週までに37都府県からの累積報告数は342例となり、20例以上を報告したのは福岡県(36例)、大阪府(33例)、鹿児島県(29例)、広島県(27例)、東京都(24例)、兵庫県(22例)、神奈川県(21例)であった。感染症発生届に記載されていた感染経路は、経口感染が全体の80%程度であった。

2014年第22週までに報告された342例の年齢中央値は51歳(範囲：0～97歳)で、年齢階級別では60～69歳が82例(24%)で最も多く、次いで50～59歳が69例(20%)、40～49歳が59例(17%)であった。性別は男性が201例(59%)、女性が141例(41%)であった。国内が推定または確定感染地域として報告された症例は309例(90%)であった。国外が推定感染地域として報告された症例は33例(フィリピン、韓国、タイ、ネパール、パキスタンの順)であった。診断方法は337例が血清IgM抗体によるもので、PCR法によるウイルス検出は5例であった。

A型肝炎の発生報告は2014年第8週で東北地方に限局的な流行が見られた。その後、西日本を中心に報告が多くなり、全国のピークであった第9～10週において九州地方及び瀬戸内地方から約7割が報告された。第22週まで、九州地方と瀬戸内地方で約6割を占めている(九州地方：29%、瀬戸内地方：28%)。九州地方では第20週前後の増加傾向が注目される。

これまでに報告された症例のうち、159例で遺伝子配列解析を行い、IA(広域型)が21府県で103例、IA(広域型以外)が34例、IIIAが18例、IIBが4例検出された。IA(広域型)は遺伝子配列解析を行った領域の配列がほぼ完全に同一であった。IA(広域型)のうち10例以上検出したのは鹿児島県が15例、福岡県と宮崎県がともに12例、兵庫県が11例であった。第5～11週にはIIIAを中心とした限局的な流行が宮城県及び山形県においてみられた。第7週以降には、IA(広域型)が検出された症例が、宮城県から鹿児島県まで全国から広く報告されていたものの、九州地方及び瀬戸内地方からの検出が全体の74%を占めた。このことから、IA(広域型)の全国的な流行は、これらの地域に広域に流通した共通の感染源によるものである可能性が考えられた。感染源については現在まで不明である。過去に食中毒と判断されたケースにおいては、国内では海産物が報告され、海外ではセミドライトマトなどが関与した広域事例が報告されたことがある。

A型肝炎は一般的に潜伏期が平均28～30日(範囲：15～50日)と長いことから、食材などの感染源についての聞き取り調査は困難である。感染源の共通性の検討には、遺伝子配列解析などの分子疫学的手法が非常に有用である。しかしながら、ウイルス株の遺伝子配列解析については、自治体により実施体制が異なっている。地方衛生研究所より国立感染症研究所ウイルス第二部へ行政検査によるウイルス解析の依頼とともに検体送付があれば遺伝子配列解析の実施は可能である。

感染源の究明という観点からは、医療機関、保健所、地方衛生研究所等においては、連携して患者の喫食や行動に関する情報を収集・整理することが重要である。特に、共通した食材・食品の広域流通的な曝露という観点からの聞き取りや遺伝子配列解析の実施が自治体の連携により行われることが、原因究明の上でより有効であると考えられる。

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第24週 平成26年6月9日(月)～平成26年6月15日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第24週							計	前週	全国(23週)	高知県(24週末累計)		全国(23週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H25/12/30～H26/6/15				H25/12/30～H26/6/8		
インフルエンザ	インフルエンザ			2					2 ( 0.04)	5 ( 0.10)	835 ( 0.17)	10,739 ( 223.73)	1,459,705 ( 296.27)		
小児科	咽頭結核熱			1	4			1	6 ( 0.20)	12 ( 0.40)	2,663 ( 0.85)	141 ( 4.70)	31,291 ( 9.96)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	3	14	12	4	4	38 ( 1.27)	28 ( 0.93)	8,269 ( 2.63)	445 ( 14.83)	146,867 ( 46.73)			
	感染性胃腸炎	29	30	56	7	16	10	148 ( 4.93)	110 ( 3.67)	20,934 ( 6.65)	6,528 ( 217.60)	547,339 ( 174.15)			
	水痘	15	5	10	19	2	6	57 ( 1.90)	36 ( 1.20)	4,244 ( 1.35)	876 ( 29.20)	82,350 ( 26.20)			
	手足口病		1	2				3 ( 0.10)	( )	1,221 ( 0.39)	21 ( 0.70)	9,954 ( 3.17)			
	伝染性紅斑							( )	( )	778 ( 0.25)	20 ( 0.67)	10,346 ( 3.29)			
	突発性発疹		3	11		3	6	23 ( 0.77)	16 ( 0.53)	2,189 ( 0.70)	300 ( 10.00)	35,546 ( 11.31)			
	百日咳							( )	( )	73 ( 0.02)	5 ( 0.17)	778 ( 0.25)			
	ヘルパンギーナ		3	18	6	2		29 ( 0.97)	14 ( 0.47)	1,525 ( 0.48)	65 ( 2.17)	5,827 ( 1.85)			
	流行性耳下腺炎		9	6	6	3	7	31 ( 1.03)	38 ( 1.27)	1,111 ( 0.35)	994 ( 33.13)	17,512 ( 5.57)			
RSウイルス感染症							( )	( )	252 ( 0.08)	288 ( 9.60)	21,917 ( 6.97)				
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	5 ( 0.01)	( )	183 ( 0.27)			
	流行性角結膜炎							( )	1 ( 0.33)	437 ( 0.64)	20 ( 6.67)	8,434 ( 12.35)			
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 ( 0.13)	( )	6 ( 0.01)	6 ( 0.75)	185 ( 0.39)			
	無菌性髄膜炎							( )	1 ( 0.13)	23 ( 0.05)	8 ( 1.00)	331 ( 0.70)			
	マイコプラズマ肺炎		1	2				3 ( 0.38)	6 ( 0.75)	116 ( 0.25)	94 ( 11.75)	2,501 ( 5.29)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							( )	1 ( 0.13)	4 ( 0.01)	6 ( 0.75)	170 ( 0.36)			
	感染性胃腸炎			3				3 ( 0.38)	7 ( 0.88)	148 ( 0.31)	125 ( 15.63)	3,499 ( 7.40)			
計		45	56	129	50	30	34	344		44,833	20,681	2,384,735			
(小児科定点当たり人数)		( 22.50)	( 7.86)	( 11.13)	( 16.66)	( 15.00)	( 6.80)	( 11.21)			( 546.50)				
前週		18	45	119	33	15	45		268						
(小児科定点当たり人数)		( 9.00)	( 6.28)	( 9.59)	( 10.74)	( 7.25)	( 8.60)		( 8.57)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第24週							計	前週	全国(23週)	高知県(24週末累計)		全国(23週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H25/12/30～H26/6/15				H25/12/30～H26/6/8		
インフルエンザ	インフルエンザ			0.13					0.04	0.10	0.17	223.73	296.27		
小児科	咽頭結核熱			0.14	0.36			0.20	0.20	0.40	0.85	4.70	9.96		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.43	1.27	4.00	2.00	0.80	1.27	0.93	2.63	14.83	46.73			
	感染性胃腸炎	14.50	4.29	5.09	2.33	8.00	2.00	4.93	3.67	6.65	217.60	174.15			
	水痘	7.50	0.71	0.91	6.33	1.00	1.20	1.90	1.20	1.35	29.20	26.20			
	手足口病		0.14	0.18						0.39	0.70	3.17			
	伝染性紅斑									0.25	0.67	3.29			
	突発性発疹		0.43	1.00		1.50	1.20	0.77	0.53	0.70	10.00	11.31			
	百日咳									0.02	0.17	0.25			
	ヘルパンギーナ		0.43	1.64	2.00	1.00		0.97	0.47	0.48	2.17	1.85			
	流行性耳下腺炎		1.29	0.55	2.00	1.50	1.40	1.03	1.27	0.35	33.13	5.57			
RSウイルス感染症									0.08	9.60	6.97				
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.27			
	流行性角結膜炎								0.33	0.64	6.67	12.35			
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.01	0.75	0.39			
	無菌性髄膜炎								0.13	0.05	1.00	0.70			
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.40				0.38	0.75	0.25	11.75	5.29			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.01	0.75	0.36			
	感染性胃腸炎			0.60				0.38	0.88	0.31	15.63	7.40			
計		22.50	7.86	11.13	16.66	15.00	6.80	11.21			546.50				
(小児科定点当たり人数)		9.00	6.28	9.59	10.74	7.25	8.60		8.57						
前週															
(小児科定点当たり人数)															

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869